



三條南ロータリークラブ週報

Sanjo Minami Rotary Club



2012.9.10

No.2051

No.9



出席率 会員47名中31名

先々週の出席率 90.91%

ゲスト R地域協働ネットワークセンター
センター長 平井邦彦様

ヴィジター 三条東RCより 栗山正男君
米山奨学生 ツァイブトン・ドルジ君

先週のメークアップ
9/4 三条北RCへ
荒澤威彦君 馬場信彦君 佐々木常行君
9/5 三条RCへ
安達 裕君 荒澤威彦君 馬場信彦君
馬場輝仁君 野島廣一郎 佐々木常行君
佐藤秀夫君 谷 晴夫君
9/9 青少年交換帰国報告会
(長岡)へ 佐藤嘉男君

奉仕を通じて平和を

2012-2013年度 平和のテーマ



会長挨拶

三條南ロータリークラブ 会長

坂井範夫

皆さん、こんにちは、ご挨拶を申し上げます。

9月に入り、朝晩はようやく涼しくなってきましたが、日中はまだまだ厳しい暑さが続いております。しかし、周りの田んぼを見ますと半分以上が刈り取られ、秋の収穫も本格化しております。

7日の朝、市に行ったのですが、所狭しと、梨、ブドウ、アンス、イチヂク等の果物が並んでおりました。これが全部売れるのかなあと心配するほどの量でした。

私たちの年代は子どもの頃、秋には田んぼにイナゴを、川に魚を、そして、山には栗とキノコ採りという風に、外でよく遊んだものです。

魚、ドジョウ、貝、バッタ、ヘビ、赤トンボ、オニヤンマなどがいたる所において、飽きもせず朝から夕方遅くまで追いかけ回し、そして、夜には度胸試し・・・、年上の子に引き回されて、冬までの間、時間を惜しむかのように本当によく遊びました。それは、まさに童謡の「ふるさと」そのものでなかったかと最近しきりに子どもの頃が懐しく思い出されます。やはり年をとったせいなのでしょう。



ドルジ君へ9月分奨学金の授与

本日は、ゲストスピーカーとして地区地域協働ネットワークセンター長の平井様にお越しいただいております。よろしくお願い致します。

また、東クラブより栗山さん、米山奨学生ドルジ君、ようこそいらっしゃいました。どうぞ最後までごゆっくりお過ごし下さい。

四つのテスト

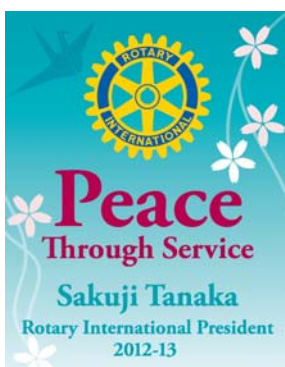
一言行はこれに照らしてから

I 真実かどうか

II みんなに公平か

III 好意と友情を深めるか

IV みんなのためになるか どうか



国際ロータリー会長 田中 作次 [埼玉、八潮]

第2560地区ガバナー 鈴木 重彦 [長岡]

第4分区ガバナー補佐 杉山 太三郎 [巻]

会長 坂井 範夫

幹事 丸山 征夫

S A A 永桶 俊一

事務局 〒955-8666 三条市旭町2-5-10

三條信用金庫 本店内

TEL 0256-35-3477 FAX 0256-32-7095

E-mail info@sanjo-minami.jp

URL http://www.sanjo-minami.jp



丸山征夫 幹事

2012-13 年度「第4 分区 IM」ご出席の皆様へ

第4 分区 IM

日 時 9月29日(土) 13:00~19:00
 会 場 ほたるの館 (農村環境改善センター)
 新潟市西蒲区福井 3976 TEL 0256-72-8848
 テーマ 「共学・共働・共汗の奉仕の輪」

- ① 交通手段 …… 市内4RC合同にて貸切バスで往復いたします
- ② 集合場所・時間 …… 三条市役所前 12:00 集合・出発(時間厳守)
 ※ 昼食の用意はございません。早目の昼食をとられてお集まり下さい。
- ③ 服 装 …… 海岸清掃がございます。カジュアルな服装・靴でご参加下さい。
- ④ お 願 い …… ご都合悪くご欠席になられた場合は、早急に幹事、または事務局までご連絡下さい。

ニコニコボックス

NIKO-NIKO BOX

~ 9月10日 11,000 円
 今年度累計 238,000 円~

三条東RC 久し振りのメイクアップです。
 栗山君 BOXに協力いたします。
 坂井君 これ位でこの暑さも終わってもらいたいもの
 です。今日は地区協働ネットワークセンター
 長の平井様の卓話です。ご苦労様です。
 鈴木(囧)君 本日の卓話、協働ネットワークセンター長の
 平井様、ご苦労様です。

広岡君 先週は、弁当の件で皆様には大変ご迷惑
 をおかしてしまい、真に申し訳ありません
 でした。その分今日は一段と力を入れて
 作らせていただきました。
 草野君、滝口君、田中君、
 銅冶君、野中君
 BOXに協力いたします。

Speech



卓 話

「センターの仕組みについて」

国際ロータリー第2560地区
 地域協働ネットワークセンター
 センター長 平井 邦彦様



私たちは、いざという時に普段できること以上のことはできませんし、日常的に築いている以上の関係を築くことはできません。ロータリー地域協働ネットワークセンターは、会員相互の間に日頃から分かり合える関係を築いて豊かな地域社会の形成に資するとともに、災害発生時等にはその関係が自助・共助の仕組みへと転換することを目指して発足するものであります。

地域の発展のためにもロータリー組織をよりフレキシブルかつタイムリーに発揮することが大切と考えます。そこでこれまでのロータリーの諸活動を総括し、安心して運用できるシステムの構築をめざして鈴木年度をスタートとして、地域活性化の基となる防災・青少年保護・ロータリー家族へのケア・地域コミュニケーションの醸成・さらにはそれらへの支援活動等に特化した「継続性のある特別委員会」を設置すべきと考えました。

究極の心構え

いざという時は普段出来ること以上のことはできません。地域貢献はロータリーの使命です。
 「常在戦場の構え」が大切です。そして、センターの継続は必ずロータリーの力となります。

センター設置のメリット

- 地域の他団体との信頼関係が増幅し、ロータリーへの信頼度が向上する
- 非常時でもロータリーの通常活動が出来る

○ ロータリーの善意が素直に相手に伝わる

・・・その結果、これまで以上に、地域に貢献し信頼されるロータリーへ成長

センターはどんなことをするのか？

ー● 平常時

- ・会員への情報提供（広報・セミナーなど）
- ・地域活性化、防災、青少年保護（命の電話）
- ・地域コミュニケーションの醸成、犯罪被害者の支援

ー● 非常時（必要に応じて対策本部等を設置・対応）

- ・物資調達、輸送、医療救護
- ・教育支援、外国人支援、募金…等

ー● もちろん東日本大震災支援も行います

- ・生活支援、産業支援、地域コミュニケーション再生支援など
- ・復興支援は復興支援のパイオニアである『中越防災安全推進機構』、『山の暮らし再生機構』等と協働し効果の上がる支援方法を考えます。

協働が考えられる他団体とは？

○ 青少年の健全育成

ボーイスカウト・市民協働ネットワークセンター・教育委員会 など

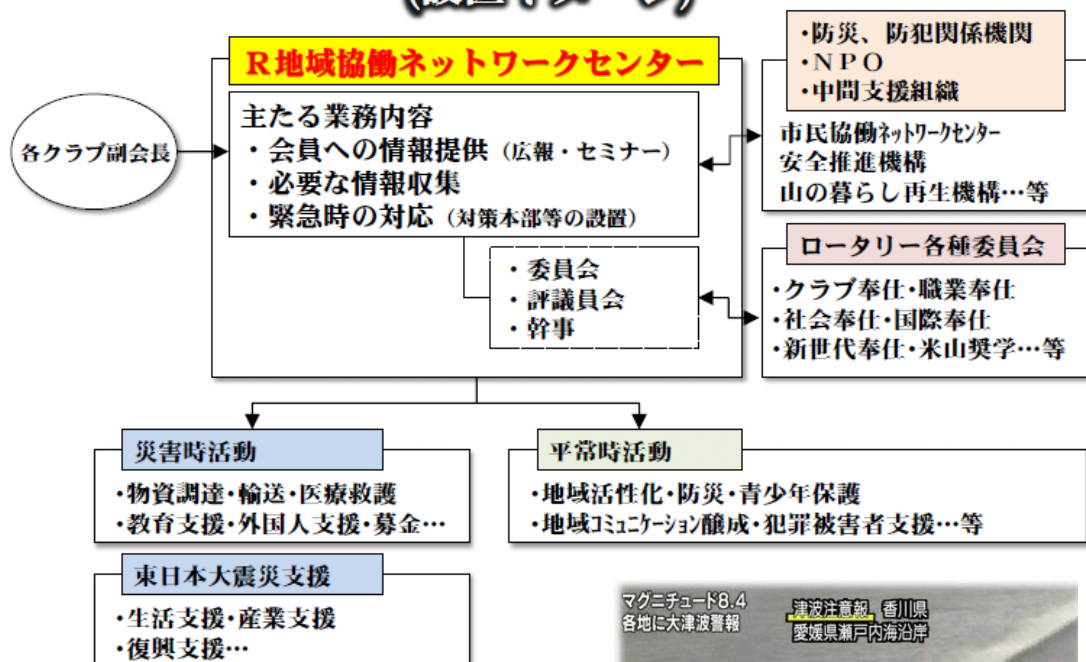
○ 人権

犯罪被害者支援者協会・新潟いのちの電話・警察 OB 会 など

○ 災害等非常時に備えて

自衛隊 OB 会・警察 OB 会・特定社団法人中越防災安全推進機構・特定財団法人山の暮らし再生機構 など

ロータリー地域協働ネットワークセンター (設置イメージ)



近年、多発する自然災害



異常気象



竜巻 ゲリラ豪雨



その時、私たちができること

災害時の迅速な支援

- ・クラブが保有する資機材の提供
- ・人的資源の確保
- ・経済的な支援

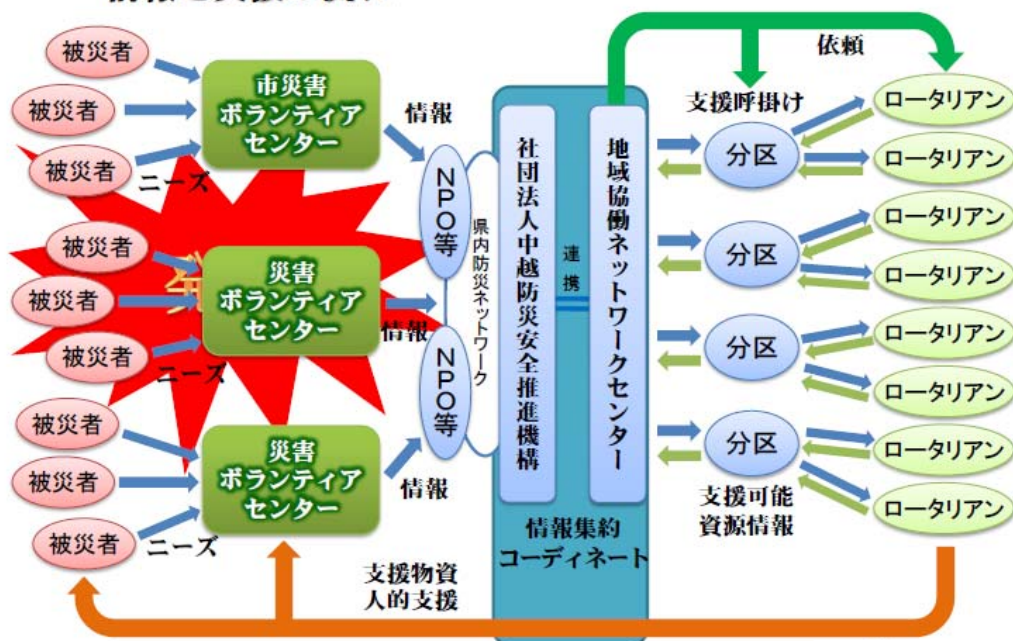


- 課題?
- ・どこに何が?最新情報は?
 - ・情報収集の方法は?



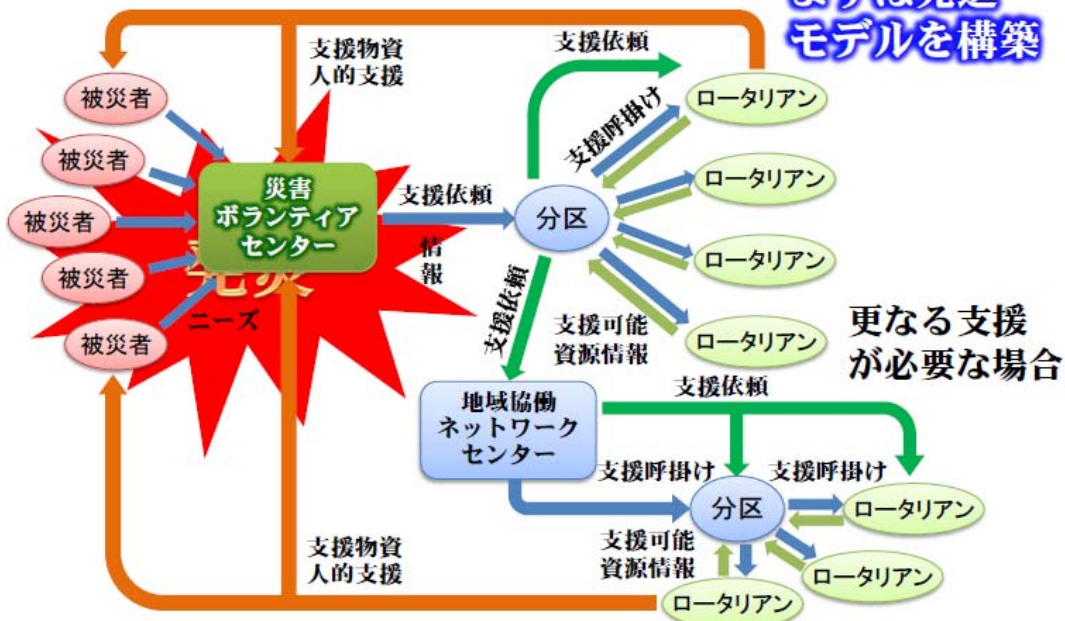
災害時における支援体制ー広域災害の場合ー

情報と支援の流れ



災害時における支援体制ー局地災害の場合ー

情報と支援の流れ



まずは先進
モデルを構築

更なる支援
が必要な場合

災害時に必要な支援を 必要なところへ



被災地のニーズと ロータリーからの支援をつなぐ 地域協働ネットワークセンター

講師紹介

地域協働ネットワークセンター長 平井 邦彦

(財)山の暮らし再生機構理事長 (社)中越防災安全推進機構理事

広島県東広島市出身、1971 年東京大学大学院工学系都市工学修士修了

(財)都市防災研究所を経て長岡造形大学教授、2010 年より同大学名誉教授

日本災害復興学会理事、(財)山の暮らし再生機構理事長、(社)中越防災安全推進機構理事、
長岡震災アーカイブセンター長などを歴任

中越大震災時、国際ロータリー第 2560 地区が立ち上げた災害対策本部参与として参画

ROTARY NEWS



「ザ・ロータリアン」誌 2012 年 9 月号より

50周年を迎えた日本の青少年交換

今から 50 年前、1962 年のオーストラリアではまさに時代が大きく変わろうとしていました。多くのオーストラリア人が第二次世界大戦の辛い思い出から精神的に立ち直ろうとしており、政府も反アジアの「白豪主義」を基にした移民政策を廃止しようとしていた時期でした。

日本から初のロータリー青少年交換学生としてオーストラリアのメルボルンに留学した関本洋子さんは、当時自分が参加した交換について周りの多くの大人たちが憂慮していたことを、まったく知らなかったと言います。50 年経った今、関本さんは、当時自分を温かく迎え入れてくれたオーストラリアについて、「戦争から 17 年しか経っていなかったにも関わらず、誰もがまるで娘や妹のように私に接し、温かいもてなしの心を感じることができた」と振り返ります。



日本での青少年交換の始まりは、オーストラリア人のドン・ファークワーさんが 1961 年に東京で行われたロータリー国際大会で講演し、友情と文化理解の大切さを訴え、特に日本との交流が重要であると、青少年交換がその目的を果たす最適な方法であると述べたことに遡ります。

オーストラリアの青少年交換プログラム担当者であるスチュアート・マクドナルドさんは、ドンさんについて次のように話します。「1942 年、ドンさんは第二次世界大戦における日本との戦いによって両目を失明しました。それでも彼は、平和と親善を推進するという熱意を使命を心に抱き続けた人なのです」

ファークワーさんが国際大会で講演した後、ある日本の地区ガバナーが、ぜひオーストラリアと日本の青少年交換を実施できないかと尋ねてきました。こうして、ローズバット・ロータリー・クラブと久留米ロータリー・クラブが、関本さんのオーストラリアへの派遣を決定しました。関本さんがメルボルンに旅立った数週間後、ほかの日本人学生がシドニーに出発、次の年には日本がオーストラリアから学生を受け入れました。こうして、日本とオーストラリアとの交換プログラムが始まりました。

前述のマクドナルドさんいわく、青少年交換の始まりとしての関本さんのオーストラリア訪問は、歴史的に大変貴重な出来事として考えられ、当時の写真は現在オーストラリア国立アーカイブに収められています。

関本さんは当時の思い出について、「私が 16 歳の頃の日本は戦後の大変な次期でしたので、オーストラリアに来たとき、まるで天国にいるような気分になりました。日本とはまるで違う生活スタイルを経験し、あの交換は私の人生の大きな転機だったと思います」と話します。

オーストラリアでの経験で、世界を旅したいという強い思いを抱いた関本さんは、大学を卒業後、旅客機の客室乗務員として活躍し、結婚。その後、日本に帰国するまでエジプトで生活しました。

「関本さんのストーリーは青少年交換の素晴らしい一例です」とマクドナルドさん。「50 年後の今、日本と世界各地の人々の間で、多くの友情が生まれています」

Sunday	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday	Saturday
	1 ◆南RC クラブ・フォーラム 「IM報告会」	2 ◆北RC クラブ・フォーラム 「IM報告会」	3 ◆三条RC 卓話 チャイナネットワーク 梅田 純子 様	4 ◆東RC クラブ・フォーラム 「IM報告会」	5	6
7	8 体育の日 ◆南RC 休 会	9 ◆北RC 「職場例会」 於：海風亭 日本海 ※ 記帳ができます	10 ◆三条RC クラブ休会 ※ 記帳ができます	11 ◆東RC⇒12日へ ※ 記帳ができます 地区大会記念 ゴルフ大会	12 ◆東RC 「ライラ研修報告会」	13
14	15 ◆南RC クラブ休会	16 ◆北RC 移動例会 ※ 記帳ができます 4RC 合同社会奉仕事業 東日本大震災被災地追悼『平泉』の旅	17 ◆三条RC 移動例会 ※ 記帳ができます	18 ◆東RC 移動例会 ※ 記帳ができます	19	20 米山奨学委員長 セミナー 12:00~15:30 於：アオーレ長岡
21	22 ◆南RC 「新世代のための月間」 馬場 輝仁 新世代奉仕委員長 ◇南RC「指名委員会」 18:30~ 於：松木屋	23 ◆北RC 「ライラ研修報告会」	24 ◆三条RC 新竹城中RC 歓迎例会 ※ 記帳ができます	25 ◆東RC 「米山月間」 遠藤 和秀 米山奨学委員長	26	27
28	29 ◆南RC 「米山月間」 鈴木武米山奨学委員長 米山奨学生 ツァイブトン・ドルジ君	30 ◆北RC 夜 例 会 18:30~ 於：ロイヤル ※ 記帳ができます	31 ◆三条RC クラブ・フォーラム 「IM & ライラ報告」			



記帳場所

25日(木) 職場例会
加茂産業会館 2F
だいいいビジネスサービス
山岸会計事務所
燕三条ワシントンホテル

*近隣RC例会変更のお知らせ

●加茂RC 10月11日(木) 夜例会
●分水RC 16日(火) 移動例会
●吉田RC 19日(金) ガバナー公式訪問
●燕 RC 25日(木) 夜例会

表紙について

あの日の一枚・・・「第4・5・6分区合同IGF」参加風景 1971年9月27・28日 於：妙高赤倉ホテル